

電気けいれん療法後の興奮等の精神症状についての 臨床疫学的へのご協力をお願い

今回、独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センターおよび京都府立医科大学附属病院 精神科・心療内科に入院された患者様を対象に、電気けいれん療法の治療直後の精神状態がどのように変化しているかに関する研究を実施いたします。そのため、2020年 4月 1日から 2023年 3月 31日の間に舞鶴医療センターおよび京都府立医科大学附属病院に入院し電気けいれん療法による治療を受けた方々の診療記録を調査させていただきます。

研究の目的

電気けいれん療法は様々な精神症状に対して用いられる治療方法ですが、治療を行った後に精神的に一時的に興奮したり、攻撃的になったりすることもあり、このような精神症状がどの程度発生しているかを明らかにすることで、その結果を今後の電気けいれん療法治療の質の向上や安全対策の向上に還元することを目的としています。

研究の方法

- **対象となる患者様について**：2020年 4月 1日から 2023年 3月 31日の間に、独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 精神科および京都府立医科大学附属病院 精神科・心療内科に入院され電気けいれん療法による治療を受けた患者様が対象となります。
- **方法について**：診療記録をもとに、電気けいれん療法の治療に関する情報を収集します。これらの情報はデータベースに登録した上でデータを分析し、結果を論文や学会発表にて公表します。本研究は通常の診療にて作成される診療記録を調査する観察研究であり入院患者様への直接的な関わりはないためいかなる利益・不利益も生じません。
- **情報の利用と管理について**：得られた情報は、舞鶴医療センター（責任者：綾仁信貴）および京都府立医科大学にて利用されます。情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお 2023年06月30日までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、舞鶴医療センター倫理委員会において、適切な研究であると承認されています。ご希望があれば、個人情報保護及び本研究の独自性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先: 独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター
精神科 綾仁 信貴 (あやに のぶたか) 電話: 0773-62-2680